

令和6年度研修 評価

研修名	看護小規模多機能型居宅介護事業所研修会・情報交換会				
領 域	訪問 看護	会場	新潟県看護研修センター	資料代	一事業所当たり 1,100 円
対 象	対象者；看護小規模多機能型居宅介護事業所に所属する管理者・職員等 行政の地域密着型サービスを担当する職員 在宅医療推進センターに所属する職員 等 応募数；14 事業所 21 名 出席数；13 事業所・関係機関4カ所 22 名				
日 時	令和7年3月13日（木曜日） 13：30～16：00				
ねらい （目標）	1. 看護看護小規模多機能型居宅介護事業の効果的な運営方法を学び、自施設における取り組みを考えることができる。 2. 県内の看護小規模多機能型居宅介護事業所間の連携を図ることができる。				
講 師	講 義：公益社団法人新潟県看護協会 常務理事 青柳玲子 実践報告：株式会社アンジェ尔 代表取締役 かんたきゆいまる ケアマネジャー 唐津義明氏 情報提供：新潟県小規模多機能型居宅介護業者協議会事務局 物江正子氏				
内容・方法	講義、実践報告、情報提供、情報交換				
結 果	○参加者割合 54.2% 【達成・未達成】 ○アンケート結果 ・研修目標（知識・技術）の習得度 83.4% 【達成・未達成】 ○受講者の意見 ・自施設の在り方を改めて考える機会になった。 ・看多機の特性を活かし、病院など医療機関との連携を強化することが大切と感じた。 ・同じように悩んだり、頑張っている方がいることが分かり、安心できたり元気をもらうことができた。 ・グループワークでは看多機を運営している方が少なく、メンバーが偏っていたように思う。 ・どの事業も共通の課題があることは分かったが、解決に結びつくヒントは得られなかった。				
評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識・技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ④アンケートの意見					
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した・達成しなかった】 ・事業所同士の情報交換や事業所からの活動報告を聞くことで、事業所同士の連携を強化することができた。 ・研修会の全体満足度は100%であったが、自由記載では課題解決には至らないとの意見が複数あった。課題の具体化が必要と考える。 ・研修を通じて、今後の事業所の在り方の再考と知識の習得に繋がった。				
課 題	・Zoom での研修が参加しやすいようだが、対面に対話することでより具体的な学びが得られると思う。会場参集での研修が開催できるよう、開催日や会場分散等の検討が必要である。				
担当者	訪問看護推進課				